

事業所番号	2390800098
事業所名	グループホーム たのしい家瑞穂

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい (外部評価項目: 2)	評価
	町内会に加入し、運営推進会議で地域の行事や神社の祭り情報を得て、積極的に参加している。日常の散歩では住民と挨拶を交わしたり、会話をしたりして交流を深めている。12月のクリスマス会のボランティア来訪時には1階の小規模多機能事業所と合同で演奏を楽しんでいる。中学生の職場体験も受け入れている。	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み (外部評価項目: 3)	評価
	運営推進会議は2か月毎に自治会長、保健委員、民生委員、家族、いきいき支援センター職員等の参加を得て、小規模多機能事業所と合同で開催している。ホームの活動報告や現状を報告、運営法人変更に関する説明や挨拶、医療体制の説明を行っている。参加者との質義応答や意見交換が行われ、運営にも反映している。	○
重点項目③	市町村との連携 (外部評価項目: 4)	評価
	瑞穂区福祉課に書類提出等で出向いた際は、事業所の状況を伝え、協力関係構築に向け取り組んでいる。いきいき支援センター主催の「認知症サポーター講座」に参加したり、事業所での開催も視野に入れており、「認知症カフェ」とともに地域住民への認知症啓蒙の拠点となるよう連携を深めていきたいと考えている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映 (外部評価項目: 6)	評価
	家族の訪問時には、コミュニケーションを図りながら、意見や要望を話しやすい雰囲気作りを努めている。行事を実施する場合は面会時に話したり、エレベーターや玄関先にも案内を掲示し参加を呼び掛けている。お誕生会は家族の様子を見てもらいながら、ともに歌を歌い、好きな食べ物やケーキを食べてお祝いしている。また、推進会議の議事録や生活の様子、写真を定期的に送付している。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	—	×	×	○	○	○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況 (外部評価) が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④にh

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認 (記録、写真等) できること。

外部評価項目	確認事項
	(例示)
2. 事業所と地域のつきあい	① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示)
3. 運営推進会議を活かした取り組み	① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
	(例示)
4. 市町村との連携	① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
	(例示)
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	① 家族会を定期的 (年2回以上) に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的 (年2回以上) に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。